

広報

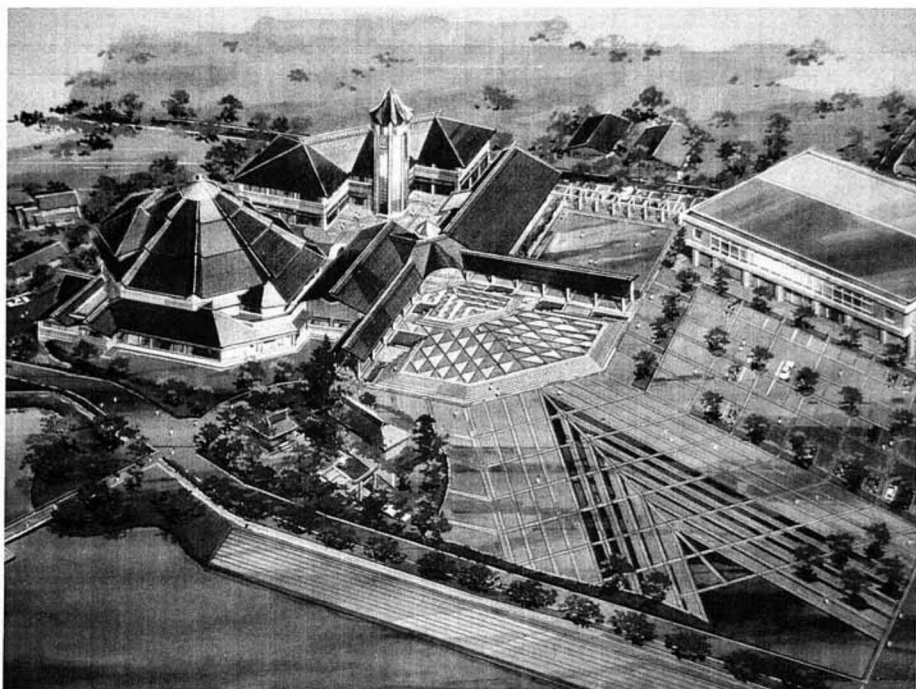
No.218

くまがた

平成3年8月15日

発行・編集 国見町企画商工課

お も な 内 容	(仮称)「国見町観月台公園 文化センター」建設へ.....	2～3
	国保特集.....	4～5
	住みよい街づくりをめざして ～公共下水道事業～.....	6～7
	おしらせ.....	8～9
	公民館だより.....	10～11
	わだい.....	12

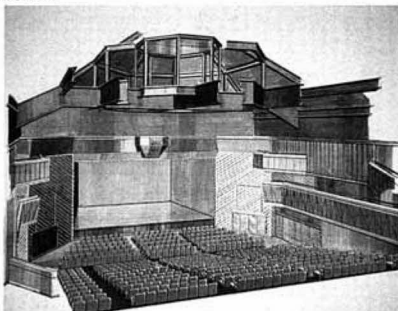


▲仮称「国見町観月台公園文化センター」完成予想図

文化と 福祉の核に

'91 8月

町では、ふるさと創生事業として、仮称「国見町観月台公園文化センター」建設事業を進めております。この文化センター建設工事は、現在行われている埋蔵文化財の発掘作業が終わり次第、平成6年4月1日オープンをめざして着工されます。



▲500名収容の文化ホール

香り高い 文化の殿堂をめざして

～ (仮称) 「国見町観月台公園文化センター」 建設へ～

ふるさと創生一億円事業としての、仮称「観月台公園文化センター」建設事業は、国の「地域づくり事業」の認定を受け、事業を進めてきました。

設計は、エスキス設計コンペにより決定した、山形市の本間利雄設計事務所があたり、町議会やふるさと創生事業懇話会などの貴重な意見を踏まえながら、国見町のシンボルゾーン・文化ゾーンとして、また観月台沼との調和を求めた文化センター建設に向け、基本設計・実施設計の作業を進め、実施設計が完了しました。

文化センターは、町民の皆さんから「愛され親しまれる建物づくり」を基本に置き、気軽に利用でき、使いやすい施設構成としました。また、高齢者や身体障害者の方々の利用にも最大限配慮したものとなっています。施設の概要は、建物が鉄筋鉄骨三階の五、五〇・八五㎡で、町章をイメージした文化と福祉の複合的なセンター棟と町木「あか松」をイメージした五〇

〇名収容のホール棟、その他エントランスなどが楽しめる芝広場、野外ステージとプラザ、駐車場で、総敷地面積は一三、九〇〇㎡となっています。このことにより、現在の福祉センター

の約五倍の建築面積の文化センターが完成することになります。町では、この事業の財源として、自治省の「地域づくり事業」認定の起債を中心に、総額二億七千八百八十万円の三か年間の継続費を計上しています。

建物は、センター棟（塔屋含む）とホール棟の二つに大別されますが、具体的な内容は次のとおりとなっています。

センター棟一階は、作業室を兼ねた書庫を備える図書室。和室は四四畳の大和室と十二畳の小和室の2部屋で、会議などに使用されます。茶室は八畳で、他に水屋と前室が備えられます。物産歴史資料展示室は、町の特産品や工場で生産された製品の展示、歴史の町にふさわしく埋蔵文化財や古文書・民族資料などの展示がされます。多目的ホールは、ギャラリー・展示室・物産展示・歴史民族資料展示などに利用されます。ラウンジは当面無料休憩所として使用。その他に事務室や応接室などとなっています。

センター棟二階は、世代間のふれあいフロアを基調として、スベリ台やプランを備えた屋上遊園地。子供たちが伸び伸びとして過ごせる児童室。各種会議を行う小・中の二会議室。様

々な芸術文化活動のための創作室。軽障害者を対象としたデイケアのためのゆとりルームなどが配置されます。

三階はやすらぎと健康ゾーンとして、体力と健康増進を目的とするトレーニング室。入浴後の休憩や高齢者のやすらぎの場としての和室。二つの浴室は別々の機能を備え、月変わり使用等の対応により、いずれの浴室も楽しめる配慮もされています。

地階は専門研修ゾーンとして、視聴覚室・調理実習室があり、東側町道からも入れる構造となります。この他に印刷室・職員更衣室・管理入室などができます。

シンボルタワーとしての塔屋は展望室となり信達平野を眺望できることとなります。

ホール棟は、明るい感じの中にも重厚さを指向し、音響・照明・リハーサル室などを充実させ、電動式移動椅子三三〇席・移動椅子一七〇席で五〇〇人収容の中ホール、一〇〇名規模の会議が可能な大会議研修室などとなります。また、一階と二階にはゆとりのあるロビーを備え、客席への出入りは二階からでもできるレイアウトです。

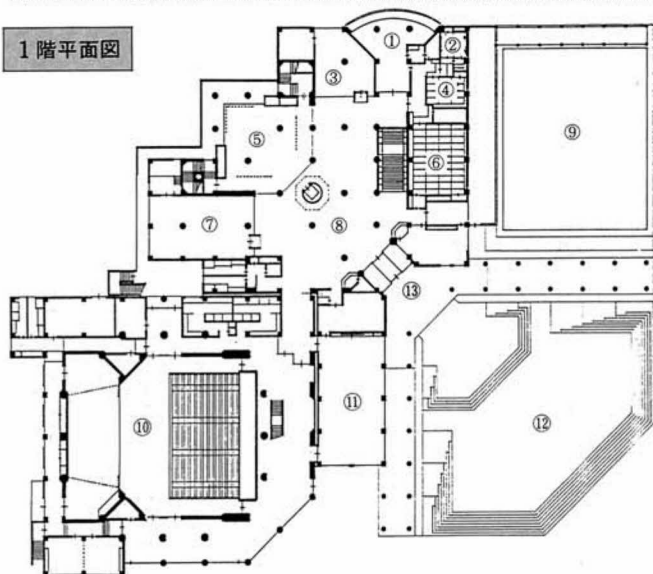
建物以外の内容は次のとおりとなっています。

七二台収容できる駐車場が整備されます。このことに対し、「今日の車社会では不十分」との指摘がありますが、町では限られた敷地面積での整備ですので、車の相乗りや徒歩での利用などをしたいと考えています。芝広場は、ゲートボールも可能な広さが整備されます。野外イベント広場は、野外集会や催し物が可能で、夜間の使用にも対応できる照明設備が完備されます。プラザは、センターへのアプローチとして、また大きな集会・会議・イベントの際には駐車場として開放される予定です。

この事業は、八月八日に十社による指名競争入札で「安藤建設株式会社」が落札し、八月十二日の議会において工事請負契約が承認されました。これにより、埋蔵文化財の発掘作業が終了し次第、平成六年四月一日オープンまでの約二年半の長期にわたり福祉センター周辺で工事が行われることとなります。

このため、工事中のセンター利用への不便、既存センターの解体による公民館活動・社会教育・社会体育活動の制限も予想されますが、本事業成功のため町民の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

1階平面図



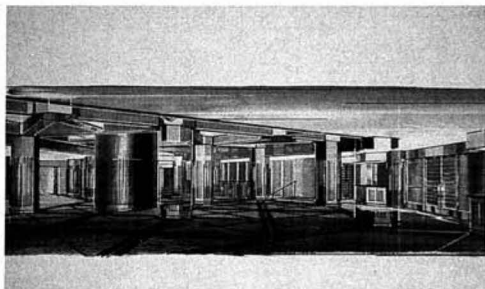
- ① ラウンジ
- ② 茶室
- ③ 物産展示・歴史資料室
- ④ 和室
- ⑤ 多目的スペース
- ⑥ 大広間
- ⑦ 図書室
- ⑧ ロビー
- ⑨ 芝広場コート
- ⑩ 文化ホール
- ⑪ 大会議研修室
- ⑫ ステージ
- ⑬ 正面玄関

(仮称)「国見町親月台公園文化センター」配置図

2階平面図



- ① 創作室
- ② 小会議室
- ③ 中会議室
- ④ ゆとりルーム
- ⑤ ホール
- ⑥ 児童室
- ⑦ 屋上遊園



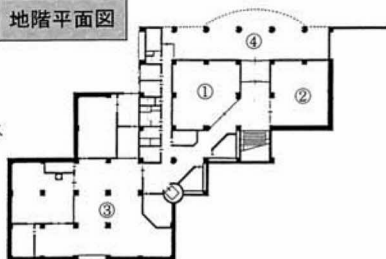
▲ロビー (完成予想図)

3階平面図



- ① 浴室
- ② 和室
- ③ トレーニングスペース

地階平面図



- ① 視聴覚室
- ② 調理実習室
- ③ 機械室
- ④ 東側入口

平成二年度 国保医療費

1世帯…35万円 1人…12万円

国民健康保険(国保)事業は、みなさんの医療費に充てるため相互扶助を目的に生み出された制度で、みなさんから納めていただいている国民健康保険税と国からの補助金でまかなわれ運営されています。

平成三年度の国見町国民健康保険特別会計当初予算は、六億九千六百六十七万円で、前年度に比べ約3%の伸びとなりました。

今月は、おもに国民健康保険と国保税についてお知らせします。

一人十二万円の

医療費

今年度の国保特別会計に占める医療給付費の割合は、歳出総額の八五%に当たる五億九千二百八万円で、昨年度と比べて、四%の減となっています。

これを月割りにすると四千九百三十四万円の医療費給付となり、年間一世帯当たり約三十五万円、一人当たり約十二万三千元となります。

また、前年度の医療費給付実績は、一世帯当たり約三十五万円、一人当たりでは約十二万円となっています。

医療費が少なくなれば、当然負担すべき国保税が少なくなり

ます。一人ひとりが常に健康に注意し、適正な受診に努め、医療費上昇にストップをかけましょう。

みんなの保険税が

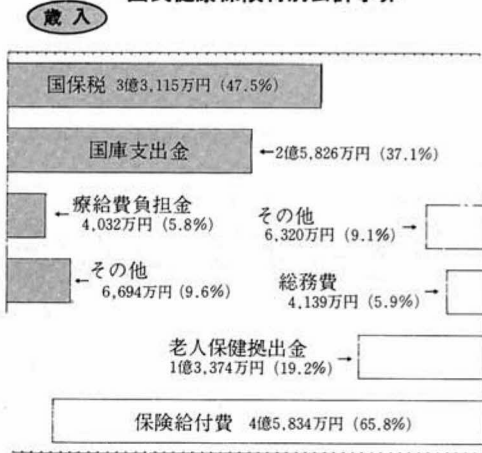
国保の支え

平成三年度の国保税(現年度課税分)は、二億九千七百四十一万円で、前年に比べ千三百一十一万円の減、率にして四・二%の減少となりました。

国保税は、皆さんが安心して医療を受けるための大切な財源です。

この財源を大切に使うことはもちろんですが、納期内完納にご協力くださるようお願いいたします。

国民健康保険特別会計予算



平成3年度 国保税税率

区分	課税割合	税率	前年度税率	対比
所得割	42%	4.96%	5.65%	87.8%
資産割	10%	34.62%	35.67%	97.1%
被保険者均等割	33.5%	1人当たり24,065円	1人当たり23,980円	100.4%
世帯平等割	14.5%	1世帯当たり30,011円	1世帯当たり32,175円	93.3%

国保税計算例 (4人家族の場合)

- 所得額 1,550,000円
- 課税標準額 1,240,000円
- 固定資産税 55,000円 (平均額)

- 所得割 61,504円 (1,240,000円 × $\frac{4.96}{100}$)
- 資産割 19,041円 (55,000円 × $\frac{34.62}{100}$)
- 均等割 96,260円 (24,065円 × 4人)
- 平等割 30,011円 (1世帯当たり30,011円)

計 206,800円

*最高課税限度額 440,000円

歳出

- ・印の方は四〇〇cc協力者です。(順不同・敬称略)
- ・一般協力
 - ・後藤 征男
 - ・横山 タキ
 - ・佐藤 洋一
 - ・佐藤 ハル子
 - ・斎藤 松男
 - ・阿部 澄子
 - ・大浦 昭一
 - ・菊地 芳昇
 - ・菅野 祝子
- ・(国見町農協)
 - ・能坂 文男
 - ・藤田 郵便局
 - ・岩城 恭郎
 - ・梅津 亮二
 - ・鈴木 由美子
 - ・森 晴子
 - ・菅野 浩
 - ・菅野 幸治
 - ・阿部 典昭
 - ・金子 明弘
- ・(福梁製作所)
 - ・佐藤 勝雄
 - ・渡辺 三男
 - ・高橋 守
 - ・引地 正仁
 - ・八島 満
- ・(その他)
 - ・萩原 光幸
 - ・浦野 和志
 - ・大橋 順一
 - ・萩原 光幸
 - ・浦野 和志
 - ・大橋 順一
 - ・萩原 光幸
 - ・浦野 和志
 - ・大橋 順一

献血に73名が協力

七月五日、県の移動採血車が来町しました。今回は小坂小学校前をはじめ、町内四か所での献血活動を行い、73名の方々にご協力をいただきました。

献血ありがとうございました

(順不同・敬称略)

健康を守るため 人間ドックを 受けてみませんか

町では、働き盛りで忙しい青年・壮年・実年の皆さんを対象に、入院（1泊2日）人間ドック、日帰り（1日）人間ドックを次のとおり実施しますので、ぜひ受検されますようお願いいたします。

◇対象者

国見町国民健康保険の被保険者で69歳までの方。

◇申し込み方法・期限

料金を添えて、平成3年9月10日まで申し込み下さい。

◇問い合わせ・申し込み

役場保健課国保係

☎ (85) 2111 内線 143

	入院人間ドック	日帰り人間ドック
検査 期日	平成3年10月～平成4年3月 毎週 火・木曜日	平成4年1月～3月 毎週 水・木曜日
検査 場所	公立藤田総合病院	
検査 項目	身体計測・呼吸器系検査・循環器系検査・腎機能系検査・肝機能系検査・糖尿系検査・血液検査・胆のう機能検査 (日帰りは、腎機能・胆のう機能を除く)	
料金	5,600円	2,500円
定員	80名	80名

老人保健制度に ご協力をお願いします

近年の医療技術のめざましい進歩により、わが国の平均寿命は著しく伸び、平成元年には、男子で七十五・九一歳、女子で八十一・七七歳となり、世界の長寿国に近づきました。一方、出生率は減少する傾向にあるため、全体の人口に占める老人の比率は急速に増加し、現在は国民一〇〇人のうち七十歳以上の老人は約七人ですが、西暦二〇〇〇年には約一八人にもなると見込まれています。

医療費に正しい理解を

お医者さんにみてもらったときの医療費の財源は、多くの人びとの協力によつてまかなわれていますが、医療費が増えることこれらの人びとの負担も増えることとなります。

そこで、お年寄りの医療費がなぜ増えるのか、その要因と考えられるものは

- ①病気がかりやすくなる
- ②慢性の病気が多い
- ③入院期間が長くなりやすい

このような要因を正しく理解したうえで、皆さん一人ひとり

が自分の健康づくりに注意して気軽に相談できる家庭医をもち、健康で楽しい豊かな毎日を送りましょう。

医療費の有効利用6か条

- 1 お医者さんにかかるときは、症状を要領よく説明しましょう。
- 2 家庭医をもちましょう。
- 3 お医者さんを信頼し、同じ病気でいくつもちがうお医者さんにかかるのをやめましょう。
- 4 治療よりもまず予防を心がけましょう。
- 5 健康診査を積極的にうけましょう。
- 6 栄養・運動・休養の「健康三原則」を守りましょう。

受診のとき

健康手帳を忘れずに

お医者さんにかかるときは、保険証（国民健康保険、健康保険など）と、老人保健法による健康手帳と医療受給者証の三つが必要ですよ。

健康手帳と医療受給者証は受診資格を、保険証は医療保険の加入者であることを証明します。

- 丸山 新吉
- 菅野 俊則
- 山内 克美
- 朽木 哲也
- 朽木 公彦
- 森木 弘子
- 斎藤 寿浩
- 渋谷 富
- 引地喜久男
- 野村美智子
- 佐藤 共子
- 佐藤由美江
- 佐久間孝志
- 一條 勝浩
- （国見町商工会）
- 佐久間正男
- 飛月 辰也
- （国見町役場）
- 武田 智
- 菅野 信朗
- 羽根田孝司
- 佐久間 茂
- 村上 幸平
- 菅原 文子
- 高橋 慎二
- 寺島 正男
- 朽木 京子
- 朽木 英子
- 制野 瑞子
- 朽木 雅彦
- 朽木 深雪
- 橋内 美芳
- 山田美恵子
- 萩野 豊
- 武田 主人
- 今井 修二
- 鎌水 正春
- 佐藤 孝
- 佐久間 正
- 菊地 弘美
- 大戸 幹夫
- 武田 浩夫
- 藤田 恭子

次回献血車来町予定 9月17日(火)

9:00～11:30	国見町農協大枝支所前
12:00～13:00	国見精機前
14:00～15:30	福島消費組合 コープマート国見前
15:45～17:00	藤田小学校前

9月10日は全国下水道促進デー

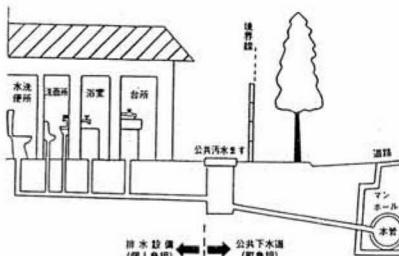
“下水道フェア91”

- ★と き 平成3年9月7日(土)
12:30~18:00
平成3年9月8日(日)
10:00~17:00
- ★と ころ 福島ルミネ(福島駅ビル)5階
「ネクストホール」「オーケラーム」
- ★内 容
 - テーマ 「環境保護と下水道」
 - 展 示 下水道に関するパネル、模型、機器等
 - お楽しみコーナー
 - ・ちびっこ広場(遊び場)
 - ・無料金魚すくい、ふうせん、わた菓子プレゼント
 - ・来場者記念品プレゼント

※入場無料お気軽にお立ち寄りください。

■問い合わせ 福島県土木部下水道課
電話 21-1111
(内線 2359 2373)

排水設備の完成図 (分流式)



■排水設備
家庭の台所、便所、浴室などの排水を町で設置した公共汚水ますにつなぐものです。
排水設備は、公共下水道の使

用開始の公示後、個人負担により設置していただくことになり、工事は町の指定する工事店で行うこととなります。

ルールとマナーと思いやり 心ふれあう みんなの道路

8月・道路をまもる月間

道路は、自動車・歩行者などの通行空間としての機能のほか、電気、電話、ガス、上下水道などの公共施設設の収容空間、緑化、通風、採光などの良好な居住環境の形成のための空間、など、いろいろな役割を果たしています。

私たちは、家の中はいつもきれいに整頓しているのに、いったん街に出るとどうもマナーに欠けるようです。

商品や広告看板、自転車などが乱雑に置かれており、通行する時に大変迷惑となっています。もう一度、道路への心遣いや

マナーを考えてみましょう。
(マナー)

①道路は広く、上手にノ
道路はみんなの空間です。自転車や放置したり、資材等置き場にして、通行する人びとに迷惑をかけていませんか。また、樹木の繁茂期にある今、



②違法駐車はやめましょうノ
違法駐車は道路利用の妨げになるばかりでなく、交通事故の原因や緊急時における活動の妨げともなり、とても危険です。ルールを守っていつも広々と使えるようにしましょう。

③思いやりノ
④潤いを与える花木を大切にノ
沿道に植えられた樹木や草花は、私たちの生活に潤いを与え、快適な生活空間をつくり出します。また、空き缶やタバコの吸い殻などゴミのない道路は、人の心をさわやかにします。道路はいつもきれいにしておきましょう。

お 礼

このたびの「雲仙普賢岳火山災害たすけあい」の実施に際しまして、町民の皆さんから多くの義援金、ご援助を賜わりまして、誠にありがとうございました。

皆さんからお寄せいただいた多くの温かい義援金は、早速、県共同募金会を通じ、島原市・深江町の被災されたかたがたにお届けいたしました。

罹災されたかたがたにとりましては、皆さんの力強い励ましや、お心遣いが大きな心の支えになっていることと思います。

本当にありがとうございました。

日赤国見町分
共募国見町分会



国見町職員

採用試験案内

平成四年度の国見町職員(大卒卒程度)採用候補者試験を次により行います。

- ▽試験職種・採用予定人員
 - 一般事務(行政)・若干名
- ▽受験資格
 - 昭和41年4月2日から昭和45年4月1日までに生まれた者で、平成4年3月までに大学卒業、または卒業見込みの者。

▽試験方法

第一次：教養試験
第二次：面接及び作文

▽試験の期日・場所

- ・平成3年9月22日(日) 午前9時から受付
- ・福島県自治会館(県庁西隣り) 二次試験については一次試験合格者に通知します。
- ▽受験手続
 - ・申込用紙は国見町役場で交付します。
 - ・申込用紙に必要事項を記入し

て国見町役場に提出してください。受験票を受理したときは、最近6か月以内に撮影した本人の写真(上半身、脱帽、正面向き、縦6cm×横4.5cm)を貼って、試験当日に必ず持参してください。

▽受付期間

8月1日(木)～8月31日(土) 午前8時半～午後5時
ただし、日曜日、第二、第四土曜日は閉庁ですので受付を行いません。(郵送による申込みは、8月28日までの消印有効)

■問い合わせ

国見町役場総務課
☎052111 内線121

職員募集

公立藤田病院組合

平成四年度採用の公立藤田病院組合職員(大学卒程度)採用候補者試験を次により行います。

▽試験職種・採用予定人員

社会福祉士・若干名

▽受験資格

昭和43年4月2日から昭和45年4月1日までに生まれた者で、平成4年3月までに大学卒業(社会福祉士主任任用資格を有する)見込みの者。

▽試験方法

第一次：教養試験
第二次：面接及び小論文

▽試験の期日・場所

・平成3年9月22日(日) 午前9時から受付
・福島県自治会館(県庁西隣り) 二次試験については一次試験合格者に通知します。

▽受験手続

・申込用紙は公立藤田総合病院で交付します。
・申込用紙に必要事項を記入して公立藤田総合病院に提出してください。受験票を受理したときは、最近6か月以内に撮影した本人の写真(上半身、脱帽、正面向き、縦6cm×横4.5cm)を貼って、試験当日に必ず持参してください。

■問い合わせ

公立藤田総合病院庶務課
☎052121

▽受付期間

8月1日(木)～8月31日(土) 午前8時半～午後5時
郵印の有効は8月28日までの消印有効

■問い合わせ

公立藤田総合病院庶務課
☎052121

老人精神保健

相談会を開催

お年寄りが日常どんな気持ちで過ごしているのかを知り、その老人の気持ちになっ

て考えてあげることが、お年寄りを世話するうえで大切なこととです。

保原保健所では、次の日程で「老人精神保健相談会」を開催します。是非お出掛けください。

▼日時

9月19日(木)

午後1時30分～午後4時

▼会場

国見町福祉センター

▼内容

- ・専門医師による個別相談
- ・保健婦による介護指導
- ・介護用品の展示
- ・老人性痴呆症患者を介護する家族の話し合い

■問い合わせ

福島県保原保健所
☎053121

省エネ みんなで実行 知恵と工夫と心がけ

現在、日本のエネルギーは約八割を海外に、また、六割を石油に依存し、この石油の約七割を中東に依存しています。このため昭和四十八年の第一次オイルショック以来、エネルギーの安定供給に取り組んできました。

ところが、ここ数年、生産活動が好調なことやわたしたちのライフスタイルが変わってきたこ

とや、さらには、省エネルギー意識が薄れてきたことなどから、エネルギー全体の需要が増えています。しかし、今の湾岸危機での経験や地球温暖化など地球環境への対応からも、省エネルギーの重要性は一層高まっています。

特に、冷房用のエネルギー需要が増大するこの季節、限りある資源を有効に活用するため、家庭でできる身近なことから、省エネルギーを進めましょう。

▼省エネ・チェック

- ①部屋の温度は26度から28度を目標に、冷房が過度にならないようこまめな調整に努めましょう。
- ②不要な照明、冷房機器、テレビはこまめに消しましょう。
- ③できるかぎり、鉄道やバスなどの大量輸送機関を利用しましょう。
- ④マイカーについては、経済運転(高速道路での速度はおおむね時速80km)による走行などに心がけましょう。

8月

今月の納税

(納期限：9月2日)

国民健康保険税(第二期)
町県民税(第二期)

みんなで防犯

楽しい夏を

夏は解放感と気のゆるみ、暑さと疲労などを要因とした事件、事故が多くなります。
家族みんなで防犯に心がけ、事件や事故のない楽しい夏を過ごしましょう。

◎痴漢や誘拐にご注意

夏は身も心も開放的になり、痴漢などの性的犯罪が大変多くなります。心のカギを締めて、被害に遭わないようにしましょう。

・知らない人の言うことは聞かない、ついて行かないように教えましょう。
・暗い夜道のひとり歩きや、知らない人の車には絶対に乗らないようにしましょう。

・痴漢の被害にあったり、不審な人を見かけた時は、すぐに一〇番してください。

◎少年を非行から守りましょう

夏は気のゆるみなどから少年非行の芽生える季節です。特に、万引などの「初発型非行」は、他の非行の誘因となりますので、子どもたちの行動を見守り、親子の対話の時間を増やし、適切な指導助言を与えましょう。

9月9日 救急講習会

もし、家族がけがをしたり、急に倒れたら、あなたならどうしますか？ 手当ての方法がわからず、慌ててしまい戸惑ったことはありませんか。
救急隊が到着するまでの適切な

な応急手当てが、その人の尊い命を守ります。

伊達地方消防組合では、8月14日から9月15日まで「救急応急手当講習会」を開催いたします。この機会に応急手当ての知識を身につけましょう。

■申し込み・問い合わせ
伊達地方消防組合西分署
☎3190



119番は
落ちついて正確に

戸籍の窓口

(7月受付分)

出生おめでとうございます

子の名	保護者	町内会
宏 樹(ひろき)	紺野 徹	町 本
勇 哉(ゆうや)	山田 勇一	前 田
崇 宏(たかひろ)	大波 洋	山 根
持 (しょう)	松浦 一行	光 明
莉 奈(りな)	渡部 勝利	高 町
今日子(きょうこ)	高橋 孝	東 城
浩 章(ひろあき)	熊坂 正一	内 谷

結婚おめでとうございます

氏 名	町内会
佐 藤 克 成	北 市
三 浦 昭 子	山 原
菊 地 吉 伴	石 母 田
佐 藤 智 恵 子	山 根

おくやみ申し上げます

氏 名	年齢	町内会
奥 山 亀 一	90	前 田
半 澤 ミヨ子	61	前 田
後 藤 ミみの	86	前 田
大 隈 賢 二	66	石 母 田
八 卷 秀 雄	62	原 八
紺 野 征 衛	47	町 野
佐 藤 二三四	67	上
星 輝 男	62	山 崎

人口と世帯

8月1日現在(前月比)7月中のうごき

人	男 5,739人 (-1)	転 入	16人
	女 6,160人 (+3)	転 出	13人
口	計11,899人 (+2)	出 生	7人
世帯数	2,979戸 (+1)	死 亡	8人

個人事業者の方 消費税の中間申告

納税は9月2日まで

個人事業者の方で、平成二年分の消費税額が六十万円を超える方は、中間申告が必要です。中間申告により納付すべき税額は、平成二年分の消費税額に十二分の六を乗じた金額です。なお、平成三年一月一日から六月三十日までの期間を一課税期間とみなして仮決算を行い、この仮決算に基づいて消費税額を計算して中間申告をすることもできます。

■問い合わせ

・福島税務署 ☎343121
・福島税務署 ☎343121
・税務相談室福島分室 ☎348111



8月 葉月(はづき)	9月 長月(ながつき)
19日(月) バイクの日	1日(日) 防災の日
24日(土) 処 暑	二十日
25日(日) 満 月	9日(月) 救急の日
30日(金) 防災週間	10日(火) 全国下水道促進デー
	15日(日) 敬老の日

心配ごと相談日

場所: 役場二階相談室 (東側入口からお入り下さい)
時間: 9時~12時
こまったことや、相談ごとがありましたら、お気軽にご相談下さい。秘密は絶対に守ります。
[相談員]
8月23日(金) 樋口 清三・後藤 アヤ
9月5日(木) 曳地 善作・渋谷 愛子
9月13日(金) 佐久間 巖・井砂喜代子



国見町公民館
☎85-2676
(有)4156

子育てコーナー

森江野幼稚園家庭教育講座
藤芳中校長大草栄治先生の
講話から

新人類といわれる若い人たちの中には「大きな幼児」「幼い青年」といわれる人たちが多くなりつつあります。これは幼児期にどのような育てられてきたかということが成人前の青年期に心と体の成長のアンバランスから、自分でコントロールできなくなると、いろいろな問題とつながって暴発します。

子育ての基本は「発達課題」を達成させること。年令相応に育てることです。とくに幼児前期(一〜三才)では「自立心」を育てることです。そのためには失敗の体験が大切。親が手を貸してばかりいると、世の中はすべて自分の思いどおりになると思ひこみます。外に出て遊ぼうとすると「あぶねがら」といって引止める。これは自然に育つはずの自立心や自発性の芽を摘んでしまいます。この自立心

の土台がないまま幼稚園や小学校の集団の中に入って決められた学習や活動ができず、ストレスとなって問題が生じる。この活動期(六才〜十二才)に充分冒険や探求活動がないと青年期になって「自我同一性」が育たず幼児性から卒業できないで「大きな幼児」「幼い青年」になってしまう。しつけの基本である耐性(こらえ性)も身につかず、親に暴力をふるい、世をすねて社会に害をなすようになりまます。

公民館では九月より「幼児家庭教育学級」を開講して、こうした基本的な学習や、身近かな具体的問題や子育ての悩みなどについてお互いに語りあい、はげまして問題解決の力を身につけていきたいと思います。具体的な実施要項や募集のチラシは後ほど配りま

成人学級だより発行

今年度の成人学級は去る五月八日開講いたしました。学級懇談会で、成人学級の学習活動に対して関心と理解をより深めていただくため、広報活動を積極的に取り上げていくことを話し合いました。

すでに学級の広報担当(多勢勝美会計)を中心に、精選された充実した内容が盛り込まれた第四号が発行され、公民館二階階段の踊り場の掲示板に貼布されております。来館の折はぜひご覧ください。

「自然」について学ぶ

阿津賀志学級では八月二日、第二回目の奉仕作業と方部学習会を行いました。

午前中は、旧佐藤家住宅や公民館周辺の除草、午後は、森江野町民センター周辺の除草を行うてから講義を受けました。

講師は昭和天皇が会津に行幸された時、植物についてご案内、ご説明役をなされた元福島高等学校校長折笠常弘先生で、「昭和天皇と植物研究とのかわり」

す。奮ってご参加下さい。

についてのエピソードなど楽しく聞かせていただきました。

また、「心の豊かさ」と関連して、用意された資料をもとに「自然」ということについて、くわしくご指導をいただきました。人間は価値を求めて生活するが、自らの為(健康安全、快き、有用さ、真善美、心の安らかさ)ばかりでなく、他の為(に生活することの大切さ、更に物事にこだわらず、作為でなく、有為に生きていくことが重要であると話されましたが、出席者一同感銘を深く致しました。

お話の間に、楽しい歌などもあり、満足感、充実感をもって終えることができ、有意義な学習会でした。

少年ソフトボール大会

優勝 大木戸Aチーム
七月二十八日、梅雨明けしたような炎天下で、第十二回少年ソフトボール大会が町民運動場で行われました。

大会には、精鋭七チームが参加し、ちびっこパワー全開、好試合が展開されました。

試合の結果は次のとおりです。
優勝 大木戸Aチーム
準優勝 町東チーム
第三位 小坂チーム

貝田クラブ優勝

県民スポーツ県北地域
壮年ソフトボール

七月二十一日、二本松市との近隣町を会場として行われた第四十四回県総体県民スポーツ大会県北地域大会壮年ソフトボール競技に出場した貝田ソフトボールクラブは、県北地域十八市町村の代表チームと熱闘の末堂々の優勝を果たしました。

寄贈品

ありがとうございます

- ぞくさん 二十枚
- ぞくさん 九枚
- ぞくさん 十枚
- ぞくさん 十枚
- ぞくさん 十枚
- 阿津賀志第二寿会婦人部様

忘れ物

最近、町民プールをはじめ、体育館などの利用者に忘れ物が多いうようです。

特に子どももの帽子が多く、これらの忘れ物は公民館で保管しております。心当たりの方は取りに来てください。忘れ物をしないよう気を付けましょう。

見学学習に

参加して

多勢 勝美



▲交通管制センターで

成人学級と中央婦人学級との合同学習が、去る七月十七日(木)に実施された。

当日は、梅雨前線が東北地方北部から三陸沖にかけて横切り、梅雨明けの間近を思わせるような蒸し暑い一日でした。

参加者は五十四名、マイクロバスとワゴン車に分乗し、午前十時に公民館前を出発、福島市に向かいました。

最初の見学は、入江町にある芸術文化の殿堂「福島市音楽堂」(昭和五十九年三月に完成した三

階建、一階には大ホール(千余席)練習室(各室にはグラウンドピアノが一台ずつ備えてある)が七室、ほかに楽屋、事務室があり、二階には小ホール、楽屋、食堂等がありました。が、何んといってもここでのお目当はデンマーク製のパイプオルガンでしょう。この日は丁度オルガン演奏者がレッスンしており、その美しい音色を聞くことができ幸運でした。

次は、音楽堂と隣り合せて建っている、福島が生んだ偉大な音楽家「古閑裕而の記念館」。昭和六十三年十一月に開館されました。ここには名の通り、氏に関する資料(写真、色紙、楽譜等)の展示、また氏によって作曲された作品の中から百曲を自由に選択して、ヘッドホンで聞くことができるようになってあります。隣には氏が(作曲などの)仕事場として使用した部屋が、当時のままに再現されておりました。今更ながら音楽家古閑裕而の偉大さに感服しました。以上二か所で午前の見学を終え、「あぶくま会館」に到着。和やかな雰囲気の中で昼食。

午後は国道四号線添いにある「県警本部交通管制センター」(旭町)に到着。直ちに管制室に案内されて、交通の安全と円

滑のための新しい交通管制システムについての説明を受け、このセンターが県内の道路交通全体の管理を行い、安全で走り易い交通環境づくりに大きな役割を果たしていることを知り、ここに勤務する方々のご苦労とご努力に改めて感謝すると共に、私達ひとりひとりが交通事故から自らの身を自ら守らねばならないことを再確認し、最後に「福島地方气象台」へ向かいました。

ここ气象台は私達の生活に直接関係し一時たりとも欠かすことのできない気象情報を提供してくれている施設、内に働く人の仕事は地味であり、決して華やかさはないが重要な職場であることに違いはありません。ここも多分に洩れず、現在は全てが機械化されて、コンピューターが観測、通信、解析、予報などの難しい計算をやってくれるとのこと。しかし最後に決めるのはやはり人間だそうです。

これらの学び、明日からの新聞、テレビの天気予報、天気図等にも興味深く接することができそうです。

本日の見学で見聞を広めた一同は、元気に帰路に着きました。

滑のための新しい交通管制システムについての説明を受け、このセンターが県内の道路交通全体の管理を行い、安全で走り易い交通環境づくりに大きな役割を果たしていることを知り、ここに勤務する方々のご苦労とご努力に改めて感謝すると共に、私達ひとりひとりが交通事故から自らの身を自ら守らねばならないことを再確認し、最後に「福島地方气象台」へ向かいました。

ここ气象台は私達の生活に直接関係し一時たりとも欠かすことのできない気象情報を提供してくれている施設、内に働く人の仕事は地味であり、決して華やかさはないが重要な職場であることに違いはありません。ここも多分に洩れず、現在は全てが機械化されて、コンピューターが観測、通信、解析、予報などの難しい計算をやってくれるとのこと。しかし最後に決めるのはやはり人間だそうです。

行事予定表

月	日	曜	行	事	月	日	曜	行	事
8	18	日		・スポーツ少年団対抗ソフトボール大会	9	1	日		・町民ゴルフ教室
				・町民ゴルフ教室					・成人、中央婦人学級グループ活動(ちぎり絵)
	21	水		・少年仲間づくり教室、阿津賀志学級交流活動(伝承文化)		・婦人、高齢者運動会参加団体代表者会議			
				・中央婦人学級(押し花)		・町長杯争奪ナイターソフトボール大会開会式			
				・子ども移動図書館運営委員会		・子ども移動図書館(大枝小)			
	23	金		・ベタンク普及講習会		4	水		・子ども移動図書館(大枝小)
	25	日		・町民ゴルフ教室		5	木		・阿津賀志学級研修旅行(いわき方面 1泊2日)
	26	月		・阿津賀志学級グループ活動(書道)					・中央婦人学級(手編み)
	28	水		・成人、中央婦人学級合同学習(国際理解)		8	日		・少年仲間づくり教室(史跡めぐり)
	30	金		・阿津賀志学級グループ活動(ちぎり絵)		・町民ゴルフ教室			
						・成人、中央婦人学級グループ活動(書道)			
	備	考				・子ども移動図書館(大木戸小)	備		
・% 県立移動図書館あづま号巡回(14:50 国見町役場)					家庭バレーボール会場(勤労者体育館)				

わだ い



お年寄りと子供たち 楽しく交歓会

大枝季節保育所の子供たちとお年寄りの交歓会が七月六日、西大枝集会所で開かれました。これは、地区のおじいちゃん、おばあちゃんたちとのふれあいを深め、子供たちの思いやりの心を育てようと毎年行われているもので、今年約百人が参加しました。この日のために一生懸命練習



▲かわいらしいハッピー姿で

を重ねてきた子供たちのかわいらしいお遊戯に、お年寄りの皆さんは大喜び。一つひとつの演技に大きな拍手を送っていました。

桃のPR 頼みます

モモの収穫が最盛期を迎えた七月二十四日、おいしい福島のくだものを全国にPRする「91ミスビーチ」が役場を訪問しました。

この日訪れたミスビーチは、宍戸昭子さん（19）、佐々木湖さん（19）、安部史恵さん（18）、菅野淳子さん（19）、の四人。宍戸さんらは「甘く、おいしい福島産のモモをはじめ、ナシ、リンゴなど福島特産のくだものを全国に売り込みます」と力強く語



▲役場を訪問したミスビーチの皆さん

っていました。

今後、ミスビーチの皆さんは、首相官邸表敬訪問や福島駅新幹線ホームでの販売、テレビ出演などをしてPRに努めます。

なお、八月十一日から十七日まででは、お盆の帰省客でにぎわう東北自動車道国見サービスエリアでもモモの販売に活躍します。

大にぎわい 納涼歩行者天国

町商工会青年部（穂苅榮治部長）主催の「第四回納涼歩行者天国」は八月三日、町中心部の旧四号国道約二百六十メートルを会場に開催されました。

これは、商店街と町の活性化を図ろうと毎年行われているもので、もちつき大会やバナナ早



▲バナナ早喰い大会

食い大会、宝くじゲームなど趣向を凝らしたイベントが繰り広げられ、たくさんの子どもたちでにぎわいました。

また、午後七時からは会場中央に設けられた特設やぐらを囲み、盆踊りがスタート。浴衣姿や仮装に身を包んだ大勢の人たちが、祭りを盛り上げました。

災害時の連絡を 速やかに

「防災行政無線を導入」町では、今年の秋から防災行政無線を導入し、災害時の連絡体制を強化します。

これは、町内での災害発生時に素早く的確に対応するために、現状を速やかに把握することが必要であるため、災害現場と役場を結ぶ無線設備を設置するものです。

導入する無線機は役場内の基地に一台と三台の公用車に一台ずつ、さらにトランシーバー型の携帯機が六台です。

第3回町民ゴルフ大会 林さんが優勝

第三回国見町町民ゴルフ大会は、快晴に恵まれた七月二十一日、町内の在住、在勤者九十七名が参加し、白鳥カントリークラブ（一八ホール・六、五四四

ヤード・パー七二）で開催されました。
競技は一八ホール・ストロークプレー、ダブルペリア方式で行われ、林明さんが七一〇の好スコアをマークし、見事優勝しました。

（大会の結果）

- 優勝 林 明 敬称略
- 準優勝 菊地 久典
- 第一位 佐久間 信
- 第二位 本宿 尚
- 第三位 荒木 輝征
- ベストグロスマ 明



▲ナイスショット

編集日記

○少年仲間づくり教室のキャンパ研修に同行。力を合わせて行った食事の準備、夜食を焦がしたキャンプファイヤー。子どもたちにとって、夏の素晴らしい思い出になったことでしょう。